



HP

HP: <https://www.tagawa-kenrou.or.jp>
E-mail: tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp



E-mail

発行所

＝ 全建総連加盟 ＝

田川建設労働組合
教宣文化部

山形県鶴岡市大塚町26-13
電話 (0235) 22-2832
FAX (0235) 22-3370



新年の御挨拶

執行委員長

和田 吉 和

新年明けましておめでとうございます。

組合員、御家族の皆様には、日頃より組合運営、組合活動に対し、深い御理解と力強い御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年六月二十九日に、田川建設労働組合結成七十周年記念



▲令和7年『庄内森とみどりのフェスティバル』上棟式の様子

式典並びに祝賀会をグランドエル・サンに於いて開催しました。全建総連、東京、神奈川、千葉の各土建、山形県連、鶴岡市長、庄内町・三川町の両町長、大蔵村長、県議会議員、前執行委員など総勢一五〇名の御臨席を賜りました。記念式典は記念の舞として、温海嶽熊野神社獅子舞が厳かに披露されました。祝賀会では、組合員歌手の佐藤善人さんより会場を盛り上げて頂き、多くの方々からお褒めの言葉を頂き閉会する事が出来ました。これもひとえに組合員、実行委員会の皆様の御尽力に依るものと感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、組合員の減少に歯止めがかからぬ状況が続いています。執行部でも持続可能な組合運動について検討してきました。全建総連組合費の値上げ、県連合会でも検討中です。田川建労でも物価上昇による諸経費の増加、組合員の急激な減少による組合費収入の減少、建設国保からの支部交付金の大幅な削減により、令和八年四月分より組合費の引き上げを検討中です。それに伴い、役員及び委員選出規定を見直し、執行委員を八人から六人に、委員数を三十五人(部員二十二人)から二十一人(部員十四人)に削減し、各種事業の見直しと廃止等、予算執行の削減に努めながら活動経費の確保、組合員へのサービスの維持を行って参ります。組合員皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。

国会でも、日本初の女性首相として高市自民党総裁が選出されました。積極財政や物価高対策、手取りを増やす政策等を掲げ、ガソリン暫定税率廃止は実現しましたが、存立危機事態の答弁を巡り、中国側から強い反発を受けています。

又、昨年来、熊の出没、被害が毎日伝えられています。私の所にも出没し、警察、市職員、猟友会の人々が来て警戒にあたっていました。冬眠もしない熊もいるとの事です。皆様、くれぐれも用心下さい。

結びになりますが、組合員、御家族の皆様にとって素晴らしい一年でありますと共に、御繁栄と御多幸を御祈念申し上げます。新年頭の御挨拶と致します。

田川建設労働組合 結成70周年 記念式典並びに祝賀会

副執行委員長 佐藤 晃

田川建設労働組合結成七十周年記念式典並びに祝賀会が、令和七年六月二十九日にグラウンドエル・サンで開催されました。

昭和三十一年に結成されて以来、組合員の社会的・経済的地位の向上や厳しい中でも処遇の改善・後継者育成に努められ奮闘されてきた諸先輩方を始め、関係各位の並々ならぬ御尽力に対しまして、結成七十周年を迎え、改めてその功績を称え、共に心より感謝を申し上げます。

今回の記念式典並びに祝賀会には、来賓の方々・組合員・委員・執行委員等々含め、一五〇名の参加がありました。



▲記念の舞の様子

記念式典では、和田吉和執行委員長の式辞の中で、来賓の方々へのお礼の言葉や、歴代役員さんの功績に対し感謝の言葉がありました。また、奥山昌毅執行委員より田川建設労働組合としての制度の移り変わりやこれまでの歩みなど沿革紹介がありました。

来賓挨拶では、全国建設労働組合総連合組織部長竹谷英幸様・田川建設労働組合第九代執行委員長佐々木貞一様・山形県建設労働組合連合会委員長関川俊夫様・東京土建一般労働組合中央執行委員長中村隆幸様から御祝いの挨拶を賜りました。今回の記念式典に、佐々木貞一宮司より記念の舞として、温海嶽熊野神社獅子舞のご披露があり、式典に華を添えて頂きました。

その後祝賀会に移り来賓祝辞では、鶴岡市長皆川治様・庄内町長富樫透様、三川町長阿部誠様・大蔵村長加藤正美様より、結成七十周年という節目を迎えた事への祝辞を賜りました。来賓紹介に続き鏡開きが行われ、乾杯の発声を神奈川土建一般労働組合中央執行委員長益田修次様にお願

いし、祝宴に入り、組合員歌手の佐藤善人さん（鼠ヶ関支部）に会場を盛り上げて頂きました。各テーブルでは懐かしい組合員さんとも話が弾み、これまでの苦労やこれからの課題など、大変有意義な時間を共有できました。

これからも多くの課題を乗り越えるため、組合員の皆様と共に田川建設労働組合の在り方を模索しつつ、八十周年に向けた新たなスタートしたいと思います。

庄内森とみどりの フェスティバル

財政部長 今野 秀逸

令和七年十月十八日（土）、十九日（日）に田川建設労働組合の恒例行事であります上棟式が行われました。前日の十七日から足場組立（業者）、



▲人気の輪投げに集まる参加者

資材搬入、上棟式建物組立を行いました。両日共、住宅相談はありませんでした。お子様を対象にした輪投げは大変好評をいただき、二日間でも午前中で終了いたしました。又、上棟式では一日目は商工観光部長の三浦一夫さん、二日目は農林部農産漁村振興課林業主幹の山泉寿史さんに棟に上っていただき上棟式を行いました。上棟儀式の後、餅を撒くと大歓声があがりました。住宅・技術対策部長の奥山さん、部員の皆様、大変ご苦勞様でした。

尚、庄内支庁の予算の関係



▲鏡開きの様子

で上棟式は今回で終了との事です。来年度からは、上棟式の代わりにモノづくりの楽しさを宣伝できる何かを十分考慮したいと思っています。

田川建設労働組合 大会告示

田川建設労働組合第七十一回定期大会を組合規約第八条の規定にもとづき、次のとおり開催します。

執行委員長

和田 吉和

日時

令和八年二月二十二日

午前一〇時〇〇分

会場

グラウンド エル・サン

代議員

令和七年十二月末組合員数で、支部分会毎に二十五人に一人（切り上げ）の選出となります。

開催方法について

昨年同様の一日日程で開催します。

なお、不測の事態の場合は、人数制限、時間短縮となる事もありますのでご了承ください。

全建総連 第66回定期大会

副執行委員長 佐藤 力

全国建設労働組合総連合の第六十六回定期大会が、十月二十八日から二十九日にかけて、佐賀県佐賀市の佐賀市文化会館において一〇八名の参加で開催されました。

昨年までは三日間の日程でしたが、今年から二日間へと短縮され、今回がその初めての大会となります。ただ、開催地が佐賀市と遠方のため、前日からの移動が必要でした。「二度乗り遅れると取り返しがつかない」と事前に知らされていたこともあり、移動当日は緊張しながらの出発となりました。

庄内空港から、酒田鮑海建設総合組合の皆さんと同行させていただき、大変お世話になりました。庄内空港を朝八時に出発し、十時に成田空港へ到着。午後一時半発の福岡空港行きに乗り継ぎます。出発ロビーへ向かう途中、羽田空港の広さに驚きながら歩いてみると、いつの間にか正午近くになっていました。昼食も取らずに福岡行きの便へ搭乗し、到着は午後二時半。さらに高速バスで佐賀市に向か



▲全体会議の様子

い、着いたのは午後三時半過ぎでした。ホテルに到着して一息つくと、もう夕食の時間で、移動だけで一日が過ぎてしまいました。

翌日は大会初日。十一時の待ち合わせに遅れないよう、一時間早くロビーに向かうと皆さんも早めに集まり、予定より早く出発しました。道中で昼食を取り、会場まで歩いて向かいました。

開会前に、全建総連結成六十五周年を記念して作成された約三分間の動画を、参加者全員で鑑賞しました。全建総連の歴史をコンパクトにまとめた内容です。文末のQRコ

ード、または「全建総連」で検索して是非ご覧ください。

大会が始まると、昨年同様に国会議員をはじめとする多くの来賓の皆さまから挨拶があり、その後、経過報告・決算報告・会計監査報告へと続きました。質疑応答は事前通告制で、四件の質疑が出され、いずれも承認されました。続いて運動方針案・規約改定案・予算案が提案され、こちらも事前通告による九件の質疑があり、時間の都合で途中打ち切りとなり、残りは二日目に持ち越されました。夜には山形県連の皆さんとの懇親会が開かれ、交流を深めることができました。

大会二日目は、朝七時に朝食を済ませ、八時にホテルを出発。朝からの徒歩移動は大変なため、タクシードで会場へ向かいました。

午前は各専門部に分かれての分科会で、私は山形の守屋さん、酒田の浅井さんと共に「労働対策」の分科会に参加しました。百十三名の参加のもと、田久労働対策部長による議案提案に対し、経過七件方針案八件の質疑が行われました。

昼食後、本会場に戻り受付を済ませましたが、帰りの時間が迫っていたため、当日中に帰るためにはやむを得ず大会終了を待たずに会場を後に

しました。

今回は遠方開催ということもあり、移動が本当に大変でした。一日短縮となった二日間の大会でしたが、内容は例年と変わらず、盛大に開催さ

大規模リフォーム工事の建築確認申請セミナー

住宅・技術対策部長 奥山 昌毅

令和七年四月一日からの建築法改正により、全国どこでも、ボツンと一軒家でも、二階建て以上の建物は確認申請が必要となりました。ただし、今まで確認申請が要らない地域の二百平方メートル以下の平屋建ては除かれます。それに伴い、大規模リフォーム工事にも前記と同じく確認申請が必要となりました。



▲真剣に話を聞く受講者

去る七月四日に第一回目のセミナーが開催されました。内容を簡単に説明しますと、一つの建物の過半を超える各工事が対象となります。屋根工事で、野地板をはがして垂木が見える状態になる工事が対象となり、外壁工事で、構造用合板等をはがして柱・間柱が見える状態になる工事が対象です。内部の床工事で、床板をはがして、根太が見える状態になる工事や間仕切りを変更、梁又は柱を過半以上入替、移動等する工事です。階段をリフォームする場合は、階段が十四段であれば、踏板を七段以上入れ替えるなどの工事に、確認申請が必要となります。

もう少し詳しく知りたい方は、五名以上の受講希望者がいればセミナーを開催出来ますので、田川建労へご連絡ください。

れました。



<https://www.zenkensoren.org/8702-2/>

青年部家族交流会

青年部部长 岡 部 翼

田川建設労働組合青年部では、組合員とその家族が気軽に参加できる「家族交流会」を毎年企画しています。今年は、初夏のさくらんぼ狩りと秋のぶどう狩りを実施し、季節ごとの味覚を楽しみながら家族同士・仲間同士の交流を深めました。自然の中でのびのびと過ごす時間は、子供から大人まで笑顔があふれ、毎年多くの家庭が楽しみにしている恒例行事となっています。

と賑やかな雰囲気包まれました。天候にも恵まれ、参加した家族からは「子供が夢中になっていった」「初めての体験で良い思い出になった」といった声が寄せられました。

続く十月の家族交流会では、佐久間利兵衛観光農園にてぶどう狩りを開催しました。当日は一時的に雨が降り

り会えない仲間とも自然と会話が弾み、世代を超えて交流が生まれる和やかな時間となりました。

家族交流会は、日々忙しく働く組合員にとって、家族と一緒にリフレッシュしながら仲間とのつながりを再確認できる大切な行事です。青年部では、これからも家族そろって参加しやすい企画を考え、笑顔が広がる交流の場づくりを続けていきます。

六月に行ったさくらんぼ狩りでは、鮮やかに実ったさくらんぼを目の前に子供たちの目が輝き、親子で高い枝の実を探したり、味比べをしたり

ありつつ、実りの良いぶどうをたつぷり味わえる絶好のタイミングとなりました。粒の大きさと甘さに驚きながら収穫を楽しむ姿が印象的でした。普段あま



▲さくらんぼ狩りを楽しむ家族

主婦の会 健康管理学習会

主婦の会会長 佐々木 智 美

今年度の健康管理学習会は九月二十八日(日)に大山コミセンで開催しました。今回は六年ぶりに料理教室を開催させていただくことが出来ました。講師は野菜ソムリエプロの資格を持ついらっしやる組合員の奥様、山口美和さん

にお願いしました。山口さんは他にも多数の資格をお持ちになり、ご活躍されているようです。色んな事に興味を持ち資格を取得されていることは素晴らしいなと、運転免許しか持っていない私にとっては良い刺激になりました。



▲先生の説明に集まる参加者

教わった料理はネギの肉巻き。ネギに斜めに切り込みを入れ、小麦粉を振ったバラ肉で巻いて焼き、その後絡めるタレがとっても美味しくて自宅でも作り、ニンニクや生姜を加えてみたりしながら、他の料理にも活かしています。そのタレの分量は醤油、酒、みりんを各大さじ一杯とキビ砂糖小さじ一杯です。その肉巻きの他に先生の調理実演と合わせ、全部で十一種類の沢山の料理を盛り付け、皆で食事を楽しむことができました。

今回は『一日三五〇gの野菜を食べられるレシピ』をテーマに学習しました。塩分は何か一品にしっかりと味がついていたら他は薄味でも満足できる、野菜を無駄にしないで、野菜クズを細かく切ってスー

編集談話室

新年あけましておめでとうございます。昨年の干支「乙巳」は変化の年と言われましたが、皆様の生活の中にも何か新しい風が吹いたのではないのでしょうか。きっと良い変化があったことと思います。

二〇二六年の午(うま)年は、その勢いにあやかりながら、田川地区や建築業界の小さな変化にも気づける一年にしていきたいです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(記・教宣部 本間 吉紀)